







○大学の名称が変更されますが、そうすると、我々の卒業した「国際商科大学」は存在しないことになり、将来、履歴書を書く時などに新しい「東京国際大学」の名前も併せて書く必要が出てくるかもしれません。母校の発展は喜ばしい限りですが、一面、複雑な心境でもあります。

さて次号こそは、予定どおりに出したいものです。原稿の協力をお願いしておきます。